

JICF e-Race 2020 日直-Tacx-iRC シリーズ 2020 後半戦 第 5-8 戦 企画案

2020 年吉日
日本学生自転車競技連盟
学生委員 古田 雅拓

はじめに

感染症拡大防止に留意しながら「新しい生活様式・スマートライフ」を定着させ段階的に社会経済の活動レベルを引き上げていく施策が段階的に実施され、本連盟加盟校向け9/18付けアンケート調査結果では、ほぼ全ての授業がオンライン授業である学校が22%、一部オンライン授業＋一部登校授業が78%となり、大会参加についても原則日帰り参加など一部制約があるチームもあるものの、大会に参加可能な学校が過半に達してきております。実レースも無観客開催ながら、少しずつ開催しております。今後ひきつづき、情勢を慎重に観察しながら、例年より頻繁に理事会を開催し、大会等の事業実施の予定を確定していきたいと考えております。

一方で、例年 12 月～3 月に埼玉県で開催されている RCS(全日本学生ロードレースカップシリーズ)は中止となり、今期開催予定は限られています。

学連では、JICF e-Race 2020 日直-Tacx-iRC シリーズを合計四戦にわたって開催してきました。前半戦では試験開催ということで、例年 6 月に日本学生自転車競技連盟主催により利根川上流域仮設コースで行っている個人ロードタイムトライアルコースをシミュレーションした、E レースを開催しました。実レースと E レースとのタイム差は以下のような結果でした。

	実レース(昨年)	E レース
EQADS 湯浅	42 分 00 秒 991	42 分 21 秒

この結果では、21 秒 E レースの方が遅い結果となっておりますが、新型コロナウイルスによる練習への制限があったことを考えると、平坦コースでの E レースの再現性は高いと考えています。

選手権大会への出場資格獲得の機会が少ないこと、練習のモチベーションが維持しにくいこと等から、ロードカテゴリーの昇格を含んだ JICF e-Race 2020 日直-Tacx-iRC シリーズ後半戦を以下の様に行いたいと考えております。

イベント概要

日 時 12 月 15 日 (火) 19 時～
1 月 14 日 (木) 19 時～
1 月 26 日 (火) 19 時～
2 月 9 日 (木) 19 時～

場 所 各自自宅・部室・合宿所などの「おうち参加」を基本とする。

コース Tacx アプリ上の利根川上流域特設コースをシミュレートした web 上の仮想コース

種 目 e-個人ロードタイムトライアル 仮想距離 31,2km

参加資格 2020 年度日本学生自転車競技連盟登記選手
2020 年日本自転車競技連盟ライセンス保有者で日本学生自転車競技連盟が認めた
選手のオープン参加(「おうち参加」に限る)ができる

参加料 **円/一回 オープン参加は+500円
先着 20 名にはバウチャーを送付する。

参加申込 チーム毎に所定の様式に必要事項を記入し、グーグル・フォームにて申込のこと。
申込期限は、**必着とする。
参加料納入期限は、**必着とする
振込先:みずほ銀行 渋谷支店 普通預金 8101853 日本学生自転車競技連盟

賞典 参加賞として、粗品を送付する。
(1) 4 回のタイム合計で総合表彰
(2) クラス2の 4 回の合計タイム最上位者はクラス1に昇格
(3) クラス3は 4 回のうち結果の良い 2 回の合計タイム上位5%がクラス2に昇格

接続テスト **の間の指定した日時に接続テストを行う。

[日直商会様より、学連加盟校学生向けスマートトレーナーの特別販売を実施して頂ける事になりました。詳しくは学連事務局までご連絡下さい。](#)

追加説明

・人数は制限しない。但し以下の条件が必要。

インターネット環境があること。

スマートローラー又はパワーメーターを保有し、パソコン又はスマートフォンとBluetooth等で接続出来ること。

体重計 体重を証明できること。

Tacx アプリを開く端末とは別途に Zoom 会議に参加するデバイスを用意する。

・参加方法

参加申込書に氏名、大学名、男子は RCS クラス、使用機材名、体重を記載

TAX アプリに登録し、アプリ内で「学生代表委員会 日本学生自転車競技連盟」をフォロー。

参加を認められるとフォローを許可される

コースはアプリ GPS コースにあるが、フォローした選手にのみ公開される。

走行(トレーニング)データをフォロワーに公開として設定。

＝フォロワーの記録は、フォローされている方のアプリ上に一覧表示される。

・実 施

公平な e レースには、TAX アプリのセッティング- training settings に体重が正確に入力されていることが重要である。レンタル機材での参加者はその場で体重確認を行い、在宅参加者に対しては、タイムトライアル終了後に上記が正しく設定されていることを確認するため、体重計と設定画面の写真またはスクリーンショットを要求する必要があることを告知。

参加者が一定数いた場合には、ライブ配信を行う。

リザルトは各選手が自身の Tacx クラウドに記録を残すことによって、前述のように主催側のアプリ上で一覧として表示される。

表彰は行わず、記念品は別途郵送とする。

以上